

令和５年度 第１回 天然記念物「高宕山のサル生息地」の
サルによる被害防止管理委員会 会議録

1 会議の名称	令和５年度 第１回 天然記念物「高宕山のサル生息地」の サルによる被害防止管理委員会
2 開催日時	令和５年 7 月 18 日（火） 14 時 00 分～15 時 00 分
3 開催場所	富津市役所 4 階 401 会議室
4 審議等事項	（１）令和４年度事業の事業報告及び決算について
5 出席者名	委 員 小泉義行、岡根 茂、粕谷哲也、成川正憲、根本 浩、 橋本 威、嶋野利郎、相川正和、大澤健司、池田文隆、 清田義昭 オブザーバー 伴 光哲（千葉県教育庁教育振興部文化財課） 金城芳典（千葉県環境生活部自然保護課） 事務局 （調査団）直井洋司 （富津市）平野 勉、樋口峰昭、桐村修司、金木佑天 （君津市）當眞紀子、朝倉 唯
6 公開又は非公開の別	☒ 公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7 非公開の理由	
8 傍聴人の人数	0 人（定員 5 人）
9 所管課	教育部 生涯学習課 文化係 電話 0439-80-1342
10 会議録（発言の内容）	別紙のとおり

発言者	発言内容
(富津市)樋口 生涯学習課長	定刻となりましたので、令和5年度第1回天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理委員会会議を始めさせていただきます。 本日は、何かとお忙しい中、本会議にご出席を賜り誠にありがとうございます。 本日の進行を務めさせていただきます、富津市生涯学習課長の樋口でございます。よろしくお願いいたします。 会議に先立ち、出欠席の報告をさせていただきます。 本日の会議は、出席者11名、欠席者2名です。 過半数の委員の出席を得ており、本委員会設置要綱第7条第2項により成立しております。 委員の変更がありますので、ご報告いたします。 君津市経済環境部農政課長が、橋本様に 千葉県森林組合南部支所長が、相川様に 今年度より新たに委員に就任していただいております。 続いて、委員長であります、小泉富津市副市長からご挨拶申し上げます。
小泉委員長	(委員長挨拶)
(富津市) 樋口課長	ありがとうございました。 議事に入る前に、お手元にお配りしました資料の確認を取らせていただきます。
(富津市) 金木主任主事	それでは、お配りしました資料の確認をいたします。 1 会議次第 2 委員名簿 3 席次表 4 委員会設置要綱 5 令和4年度事業報告書 6 令和4年度決算書(案) 7 千葉県自然保護課提供資料

	以上の7点です。
(富津市) 樋口課長	本日の会議は、公開となります。会議終了後、会議録を作成し、富津市および君津市のホームページにて公開いたします。会議録作成のため録音をさせていただきますので、ご了承願います。 それでは、本委員会設置要綱第7条第3項の規定により、議長を小泉委員長にお願いいたします。
小泉委員長	議長を務めさせていただきます。皆様方には、スムーズな議事の進行にご協力をお願いいたします。 議題に入る前に会議録署名委員2名を決めたいのですが、慣例により私から指名してよろしいでしょうか？
委員一同	異議なし。
小泉委員長	ありがとうございます。 それでは、ご異議もないようですので、嶋野利郎委員、相川正和委員にお願いいたします。 それでは、議題に入らせていただきます。議題（1）令和4年度事業報告及び決算について、事務局の説明を求めます。
(君津市) 當眞文化振興 担当主幹	令和4年度事業報告について説明いたします。 事業目的と計画 本事業の目的は、天然記念物「高宕山のサル生息地」のニホンザルを管理し、サルによる農作物等への被害を防止し、地域住民の生活を文化財である野生動物との共存を目指すものであります。 本事業の主体は、天然記念物の管理団体である君津市および富津市であります。事業は、管理団体を中心として組織されました本委員会から天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業調査団に委託し実施いたしました。 令和4年度の事業内容は、 （1）被害防止 （2）生態調査と個体数管理 （3）天然記念物指定地域の環境改変と生息環境調査

	1 被害防止 (1) 電気柵による被害防止 ①維持管理 本事業対象の電気柵の点検・改修を行いました。報告書に本事業対象電気柵の一覧がございます。また、電気柵の点検結果を掲載しております。 ②改修 今年度は、富津市高溝地区のT7、君津市平田地区のK11の改修を実施しました。 (2) 被害多発期の追い払い 8月2日から9月10日までの期間、要現状変更範囲やその周辺を巡回し、群れやオスグループ等を発見した際に追い払いを行いました。実施員数は延べ20人日です。巡回中に耕作地でニホンザルに遭遇することはなく、遭遇場所は国道沿いでした。追い払い期間中に確認した稲作被害については、ニホンザル以外の動物被害も考えられます。 (3) 被害実態調査 3月に合計46戸を対象に聞き取り調査を実施しました。 調査した場所は、富津市29戸(宇藤原10戸、それ以外19戸)、君津市17戸を対象としました。 令和4年度の被害を3年度と比較しますと、被害指数および被害率は、やや減少、もしくは現状維持となっておりますが、平成14年以降、高い数字となっております。被害については、サル以外の被害も含まれている可能性があります。昨年度調査した品目以外にも「ジャガイモ」や「サトイモ」など、今まで被害に遭わなかった品目も新たにサルの被害が出ている状況でした。 2 生態調査と個体数管理 (1) 電波発信機装着のための捕獲 電波発信機を装着するため、箱ワナを7か所に7台設置しました。 令和4年度は、合計21頭の捕獲がありました。捕獲個体に麻酔をし、外面計測、形態による交雑判定、血液サンプル採取を実施しています。 捕獲個体のうち発信機装着個体は、君津市旅名捕獲のヒナ、富津市宇藤原捕獲のウタ、君津市西日笠捕獲のマツ、富津市小倉捕獲のラグのメ
--	--

	ス4頭です。そのうち、ウタとマツには、GPS 電波発信機を装着しております。 形態による交雑判定では、君津市3頭、富津市1頭の計4頭が交雑と判定され安楽殺処分となりました。判定は、相対尾長による基準と体毛色の違いによって行っています。 また、富津市宇藤原のフジオは、令和3年度に捕獲し電波発信機を装着した個体ですが、2月に再捕獲されました。発信機の不具合と発信機による首のケガが認められたため発信機を外し放獣しました。 そのほかの捕獲個体で、顔の入れ墨のある個体が富津市高宕山自然動物園の個体であることが分かったため動物園へ引き渡しました。 その他の個体は、放獣しております。 (2) 生態調査 令和4年度の追跡対象は、田倉群、小倉A群、仮称マツ群、旅名A群の4群とフジオ1頭です。フジオについては、2月15日に電波発信機を取り外しておりますので、それまでの追跡調査結果となります。令和4年度末での指定地域周辺のテレメーター装着個体は、6頭となりました。 各群れの遊動域については、令和3年度と比べてあまり大きな変化はみられませんが、田倉群、仮称マツ群にGPS搭載の発信機装着個体がいるため、毎日10時、14時、20時の1日3点の位置情報を取得できるようになり、行動域の詳細な情報がとれるようになりました。 (3) 個体数管理 富津市農林水産課、君津市農政課より有害鳥獣駆除の資料を提供していただき、取りまとめました。駆除数は、君津市13頭、富津市67頭、合計80頭となっております。 3 天然記念物指定地域の環境改変と生息環境調査 (1) 環境改変調査 12月に対象樹木の成長量調査を行いました。県有林・国有林ともに先枯れや枯れ木が若干増えて見られました。 (2) 生息環境調査 富津市宇藤原の峰上ステーションで気温と降水量を調査しています。令和3年度のデータと比べますと、気温に大きな変化はありませんでし
--	---

(富津市) 桐村課長補佐	たが、降水量は若干減少しています。 以上、報告いたします。 続きまして、令和４年度「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業決算（案）について、ご説明いたします。 （歳入） <table> <tr> <td>予算額</td><td>4,473,000 円</td></tr> <tr> <td>収入済額</td><td>4,473,000 円</td></tr> </table> （歳入内訳） <table> <tr> <td>富津市</td><td>2,460,000 円</td></tr> <tr> <td>君津市</td><td>2,013,000 円</td></tr> <tr> <td>計</td><td>4,473,000 円</td></tr> </table> （歳出） <table> <tr> <td>予算額</td><td>4,473,000 円</td></tr> <tr> <td>支出済額</td><td>4,473,000 円</td></tr> </table> （支出内訳） <table> <tr> <td>報償費</td><td>6,000 円</td></tr> <tr> <td>賃金</td><td>1,932,000 円</td></tr> <tr> <td>旅費</td><td>329,378 円</td></tr> <tr> <td>需用費</td><td>2,158,603 円</td></tr> <tr> <td>役務費</td><td>47,019 円</td></tr> <tr> <td>計</td><td>4,473,000 円</td></tr> </table>	予算額	4,473,000 円	収入済額	4,473,000 円	富津市	2,460,000 円	君津市	2,013,000 円	計	4,473,000 円	予算額	4,473,000 円	支出済額	4,473,000 円	報償費	6,000 円	賃金	1,932,000 円	旅費	329,378 円	需用費	2,158,603 円	役務費	47,019 円	計	4,473,000 円
予算額	4,473,000 円																										
収入済額	4,473,000 円																										
富津市	2,460,000 円																										
君津市	2,013,000 円																										
計	4,473,000 円																										
予算額	4,473,000 円																										
支出済額	4,473,000 円																										
報償費	6,000 円																										
賃金	1,932,000 円																										
旅費	329,378 円																										
需用費	2,158,603 円																										
役務費	47,019 円																										
計	4,473,000 円																										
小泉委員長	ありがとうございました。 事務局の説明が終わりました。ただいまの説明につきまして、何かご質問等ございましたらお願いいたします。																										
清田委員	電波発信機について教えてください。 従来の電波発信機は、山の中にアンテナを持っていき、電波の届くところで探していたと思います。２個体に新たに付けた GPS は、遠隔地にいながら電波情報を取得できるのですか。																										
(調査団) 直井団長	そうではなく、後でデータを回収します。 発信機によって様々で、リアルタイムで場所がわかるものもあります																										

	が、これは、受信機でログを回収します。
清田委員	サルにとって、従来型と電波発信機はどちらが重いのですか？
(調査団) 直井団長	GPS 型のほうが少し重いです。 従来型のものについても、昔は山の中に入り、ボタンを押して群れを見つけて追跡していましたが、現状の調査員の人数等から、目視での追跡も難しくなっている部分があります。
清田委員	今後は、GPS に切り替えたほうが調査は有意義になりそうでしょうか。
(調査団) 直井団長	調査員の現状から、群れの行動域や年間の利用場所を把握するには、GPS に頼らざるを得ません。
清田委員	決算報告にもありましたが、調査用品が予算よりも多くかかっているのは、従来型よりも GPS のほうが高いのでしょうか。
(調査団) 直井団長	それもありますが、近年の傾向として、捕獲頭数が非常に増加しています。それに付随する費用が発生しています。
清田委員	予算に限りはあると思いますが、有意義なデータを活用していただきたい。
小泉委員長	他にいかがですか。 他にご質問もないようですので、議題（１）令和４年度事業報告及び決算について、ご承認いただけますでしょうか？
委員一同	異議なし。
小泉委員長	ありがとうございます。本件は承認されました。 続きまして、次第の４ 千葉県における今後の方針について 本日、千葉県教育庁教育庁教育振興部文化財課より伴様が、また、千葉県環境生活部自然保護課から金城様がお見えになっておりますので、今後の方向性について助言をいただきたいと思います。

(千葉県) 伴文化財主事	それでは、千葉県文化財課の伴様からお願いいたします。 天然記念物「高宕山のサル生息地」は、昭和 30 年代に指定されて以降、70 年近く、サルの群れの生態が観察できる貴重なものとして保護されてきた一方で、深刻な猿害の問題もございます。 文化財の保護と被害問題の間に折り合いをつける努力を長いこと継続されてきました地元の方々、行政の皆様、専門家の皆様には厚く御礼申し上げます。 かねてから、サルの捕獲に関して協議の範囲を変更できないかと相談を受けております。 文化庁としては、文化財の対象となるサルの群れは、「指定地を生息地として使用している群れ」となります。指定地に由来しているとされ、個体識別をして追跡した結果、現在は指定地を離れてしまっている群れについては、慎重に取り扱いを検討すべき対象だ、と文化庁から見解をうかがっております。 そのため、調査団の方々や県の自然保護課によるサルの群れの遊動域や個体数、群れの識別などを続けていただき、より詳細な行動を把握していただくことが重要となります。 その情報を基に、群れの数や保護すべき群れを管理する方針などを明記していただいて、その中で、どの群れが文化財として扱うべき対象なのかの情報を整理していただく必要があります。その情報を基に文化庁と協議して要協議範囲の変更につなげていくということになります。今後とも、皆様のお力添えをよろしくお願いいたします。
小泉委員長	ありがとうございました。 続きまして、千葉県自然保護課の金城様、よろしくお願いいたします。
(千葉県) 金城副主査	本日、担当西田の代理として出席しております。 私からは、「令和 4 年度ニホンザル生息状況調査実績」及び「令和 5 年度ニホンザル生息状況調査実施予定」について説明させていただきます。 まず、「令和 4 年度ニホンザル生息状況調査実績」について、交雑個体除去目的の捕獲を行いました。小型檻と大型檻を設置して、南房総市で捕獲を行っていますが、その結果、26 頭を捕獲し、うち 18 頭が形態判定によりニホンザルと判断できなかったため、安楽殺処分としました。 群れ追跡調査としては、電波発信機の装着を行っています。小型檻で

	捕獲した6頭のニホンザルにGPS発信機を装着し、放獣しました。テレメトリー法を使って各群れの状況、県内に生息するニホンザルの各群れの状況について調査を行っているのですが、令和4年度は15群について調査を行いました。この結果は、令和3年度と比べて大きな変化はなく、7群が鋸南・南房総地域、4群が勝浦・市原地域、4群が君津・富津地域を行動域としていました。 ニホンザルの事業では、交雑広域モニタリングを行っています。形態判定ですが、勝浦市・大多喜町・鴨川市・君津市から捕獲個体の写真を提供していただき、形態判定による交雑状況を調査しています。平成29年度からのデータと合わせて判定したところ、全体の41.7%が交雑個体という結果になりました。 遺伝子検査用サンプルの収集については、交雑状況を遺伝的にモニタリングするため、君津市・富津市・大多喜町から捕獲したサルの尾をサンプルとして提供していただきました。なお、遺伝子検査につきましては、令和8年度にまとめて実施する予定となっています。 最後に、地元担当者等への説明会を実施しておりまして、サル管理研修会・地元担当者会議というものを実施しております。 次に、「令和5年度ニホンザル生息状況調査実施予定」についてご説明します。捕獲については、100頭を目標に捕獲を実施します。大型檻を新たに新設し、アカゲザルとの交雑が懸念される鋸南町・南房総市を中心に捕獲を行います。群れの追跡調査につきましては、10頭を目標にGPS発信機を装着します。過去の装着個体、君津市の天然記念物事業で装着された発信機を対象に位置情報を記録し、行動域等を解析します。目視により確認できた場合は、個体数、加害状況等を記録します。 交雑広域モニタリングとしては、南房総市・鋸南町・勝浦市・木更津市・市原市から、令和4年度に捕獲した個体の写真を提供いただく予定です。令和4年度以前の事業で提供されたデータと合わせて交雑率を判定する予定です。 遺伝子検査用のサンプル収集について、南房総市・鋸南町・勝浦市・市原市から、今年度捕獲したサルの尾をサンプルとして提供いただく予定です。遺伝子検査については、先ほど申し上げたとおり、令和8年度にまとめて実施する予定です。 また、サル管理研修会・地元担当者会議を同時開催として8月に行う予定です。
--	--

小泉委員長	ありがとうございました。 お二方のご説明につきまして、ご質問等ございましたら、よろしくお願いいたします。
池田委員	令和８年度にまとめて遺伝子検査をするということですが、年度ごとには検査しないのですか。
金城副主査	これまでは、年度ごとに遺伝子検査を行ってアカゲザルとの交雑を判定していましたが、有識者の方から、「毎年やらなくても、ある程度まとめて解析してもよいのではないか。」というご意見をいただき、まとめて行うようになりました。
嶋野委員	宇藤原地区においては、1980年に事業が始まって以降、電気柵の設置等に協力をいただいています。しかし、宇藤原地区には耐用年数が過ぎた電気柵が多数あります。当初はサルだけを対象にしていたましたが、近年はイノシシ・シカの被害が増加し、柵も壊され、壊れた場所からサルに侵入されています。現状のサルだけの被害防止では、住民の生活が守れない状況にあります。そのような中で、市の担当の方には現状をよく見ていただいて、これで本当によいのかを検討していただきたい。被害の多さから耕作放棄地にもつながっております。現在、宇藤原地区で水稻を作付けしているのも１軒だけです。高溝地区でも減少しています。 当初、集落を囲うという前提ではじめていましたが、これを見直して、やり方について考えていただきたいと思います。
桐村課長補佐	適しているやり方を検討していきたいと思います。
小泉委員長	他にいかがですか。 ないようですので、議長の職をここで解かさせていただきます。 ご協力ありがとうございました。
樋口課長	以上をもちまして、令和５年度第１回天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理委員会会議を閉会いたします。 長時間にわたるご審議、ありがとうございました。